

新生児頭蓋内出血の各施設における頻度

大阪府立母子保健総合医療センター 竹 内 徹

新生児頭蓋内出血の頻度を検討するため、『新生児の頭蓋内出血に関する研究班』参加の7施設における昭和59年1月-12月の全症例を調査した。

1. 各施設の入院総数と頭蓋内出血症例数

7施設の一年間の新生児病棟入院総数は表1に示す通りである。この内、頭蓋内出血の症例は表2に示す。またそれぞれの施設における出生体重別頻度は表3に示す。

表4は頭蓋内出血を施設別に示したもので、施設により出血部位の分布に特徴が見られる。

表5は各施設の頭蓋内出血入院例の出生場所を院内、院外別に示したものである。

表6には各施設の頭蓋内出血症例の在胎週数と出生体重の平均値及び分布を示す。これを図に示したのが図1である。

以下には、各施設の頭蓋内出血症例の合計を総括して分析した。

2. 新生児頭蓋内出血の種類と、対象の特徴

主な新生児頭蓋内出血の種類は、クモ膜下出血、硬膜下出血、脳室上衣下出血、脳室内出血である。

①出生体重、在胎週数、性別、生命予後(表7) — クモ膜下出血、硬膜下出血は成熟児に多いが、脳室上衣下出血、脳室内出血は極小未熟児に主に見られる。性別では、男子に多い傾向がいずれの種類にもみられる。また死亡率は非常に高い。

②分娩と出生直後の状態(表8) — 脳室内出血例に骨盤位が多いのは、早期産と関連していると思われる。帝王切開の頻度についても同様である。非常に多くの例が、蘇生を必要としている。出生時の状態をApgar score(1分値および5分値)でみると、いずれの群も非常に悪い。

③出生場所、搬送(表9) — 多数例が院外出生児である。クモ膜下出血、硬膜下出血例では入院時齢が大きく、生後すぐに搬送される状況にはない。搬送は多数例がNICU側の専門家によるものであった。

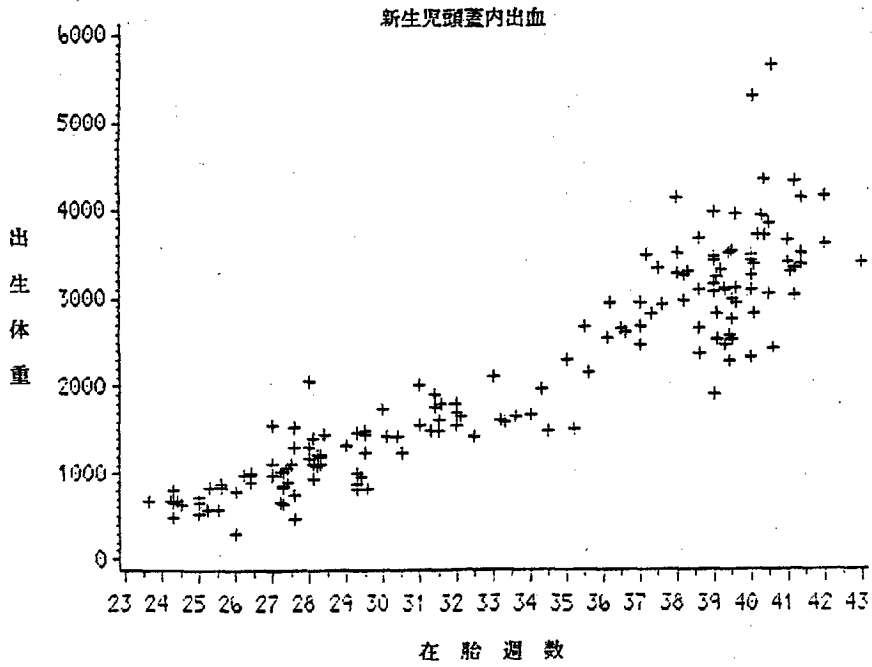


図1. 新生児頭蓋内出血症例の在胎週数と出生体重

表1.
年間入院総数(昭和59年)

病院番号	出生体重(gm)						計
	1000未満	1000—1499	1500—1999	2000—2499	2500—3500	3500以上	
1	58	112	218	320	←(717)→		1425
2	15	29	27	74	144	30	319
3	17	33	52	59	102	16	279
4	5	13	25	34	68	17	162
5	15	30	33	52	106	20	256
6	14	21	38	72	157	44	346
7	42	79	76	38	78	20	333

表 2.

頭蓋内出血年間入院総数(昭和59年)

出生体重(gm)							
病院番号	1000未満	1000—	1500—	2000—	2500—	3500以上	計
	1499	1999	2499	3500			
1	9	7	1	3	(21)		48
2	1	3	0	0	0	2	6
3	2	2	1	1	2	0	8
4	2	3	3	2	0	1	11
5	4	3	3	1	7	5	23
6	4	5	5	1	13	3	31
7	17	5	6	3	5	0	36

表 3.

頭蓋内出血の年間入院総数に対する頻度(昭和59年)

出生体重(gm)							
病院番号	1000未満	1000—	1500—	2000—	2500—	3500以上	計
	1499	1999	2499	3500			
1	15.5%	6.3	0.5	0.9	(2.9)		3.4%
2	6.7	10.3	0	0	0	6.7	1.9
3	11.8	6.1	1.9	1.7	2.0	0	2.9
4	40.0	23.1	12.0	5.9	0	5.9	6.8
5	26.7	10.0	9.1	1.9	6.6	25.0	9.0
6	2.9	23.8	13.2	1.4	8.3	6.8	9.0
7	40.5	6.3	7.9	7.9	6.4	0	10.8

表 4.

新生児頭蓋内出血

病院番号	新生児頭蓋内出血			
	クモ膜下出血	硬膜下出血	脳室上衣下出血	脳室内出血
1	9	11	3	13
2	0	2	1	2
3	1	0	1	5
4	1	0	5	3
5	11	0	4	6
6	8	6	0	14
7	5	1	6	23

表 5.

新生児頭蓋内出血

	院内出生例	他院出生例
病院番号 1	8	40
2	2	4
3	0	8
4	4	7
5	7	16
6	13	18
7	23	13
合計	57	106

表 6.

新生児頭蓋内出血

	入院数	在胎週数	出生体重 (gm)
病院番号 1	47	35.4 ±5.8	2442 ±1185
2	6	31.4 ±6.4	1969 ±1404
3	3	31.7 ±6.1	1821 ±1127
4	11	31.9 ±4.2	1723 ± 795
5	23	34.9 ±6.2	2456 ±1252
6	31	34.9 ±5.0	2367 ±1151
7	36	30.4 ±5.1	1367 ± 771
合計	163	33.6 ±5.8	2098 ±1162

表 7.

新生児頭蓋内出血

	クモ膜下出血	硬膜下出血	脳室上衣下出血	脳室内出血
総数	35	20	20	66
出生体重 (gm)	2877 ±950	3337 ±857	1152 ±432	1450 ±795
在胎週数	37.4 ±4.4	39.2 ±2.6	28.6 ±2.7	30.3 ±5.0
性別 男	23	12	15	43
女	12	8	5	23
予後 生存	23	15	14	35
死亡	12	5	6	30

表 8.

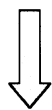
新生児頭蓋内出血

		クモ膜下出血	硬膜下出血	脳室上衣下出血	脳室内出血
胎位	頭位	26	16	10	32
	骨盤位	8	4	9	34
分娩	Vaginal	26	12	10	37
	帝王切開	8	8	9	28
蘇生	なし	18	13	7	37
	酸素投与	4	2	3	6
	mask & bag	3	4	4	9
	気管内挿管	7	1	5	14
Apgar score (1分)		5.9 ± 3.1	6.0 ± 3.3	4.0 ± 2.7	5.0 ± 2.9
(5分)		6.8 ± 3.4	6.8 ± 3.3	5.7 ± 2.4	6.6 ± 2.4

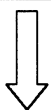
表 9.

新生児頭蓋内出血

		クモ膜下出血	硬膜下出血	脳室上衣下出血	脳室内出血
出生場所	内	6	5	10	31
	外	29	15	10	35
院外例	入院時間	29.4 ± 47.7	16.0 ± 24.1	2.2 ± 6.6	6.6 ± 19.9
搬送主体 NICU		15	10	8	31
他		8	2	2	2



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



新生児頭蓋内出血の頻度を検討するため、『新生児の頭蓋内出血に関する研究班』参加の7施設における昭和59年1月 - 12月の全症例を調査した。